

令和7年10月

奈良県債 IR資料

Nara Prefecture 2025 Investor Relations

目次

1. 奈良県の特徴

- ① 奈良県の概要 3
- ② 奈良県の日本一 4
- ③ 奈良県への交通アクセス 5-7
- ④ 奈良県の豊富な魅力 8
- ⑤ 奈良県の宿泊施設 9
- ⑥ 奈良県の宿泊者数 10
- ⑦ 奈良県の経済・産業振興 11-12

2. 奈良県の財政状況

- ① 決算額の概況 14
- ② 県債残高の推移 15-16
- ③ 県税の推移 17
- ④ 義務的経費の推移 18
- ⑤ 基金残高の推移 19
- ⑥ 財政健全化判断比率の状況 20
- ⑦ 財政健全化判断比率の全国的なポジション 21
- ⑧ 公営企業の決算状況 22
- ⑨ 公社・独立行政法人の決算状況 23

3. 奈良県の起債運営

- ① 市場公募債の発行概要 25

さいごに

- さいごに 26



奈々鹿
nanaka
ナナカ

奈良県広報担当VTuber



1

奈良県の特徴



1-① 奈良県の概要

位置	本州のほぼ中央、紀伊半島の真ん中に位置し、 周辺を山岳に囲まれた内陸県	
地形	吉野川に沿って東西に走る中央構造線により、 北部低地と南部山地に分かれる	
気象	● 北部（盆地）は内陸性気候 ● 南部（山地）は山岳性気候	
面積	3,691km ²	全国第40位
人口	132万人	全国第29位
県内総生産 (名目)	3兆7,671億円	全国第37位
大学・短大等進学率	75.1%	全国第10位
世界遺産	3か所	全国第1位
国宝建造物件数	64件	全国第1位

県の花（奈良八重桜）



県の鳥（コマドリ）



1-② 奈良県の日本一

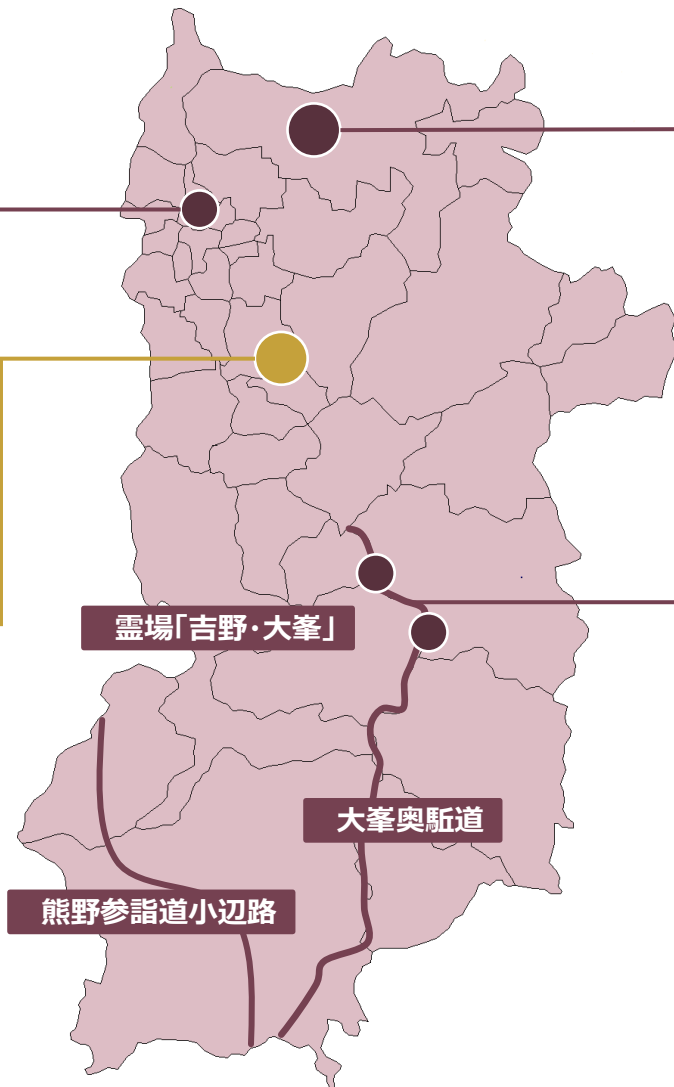
3つの世界遺産と候補地



1993年12月登録



令和8年度に「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を目指しており、**令和7年1月には、国内推薦が正式に決定され、推薦書がユネスコへ提出されました！**



1998年12月登録

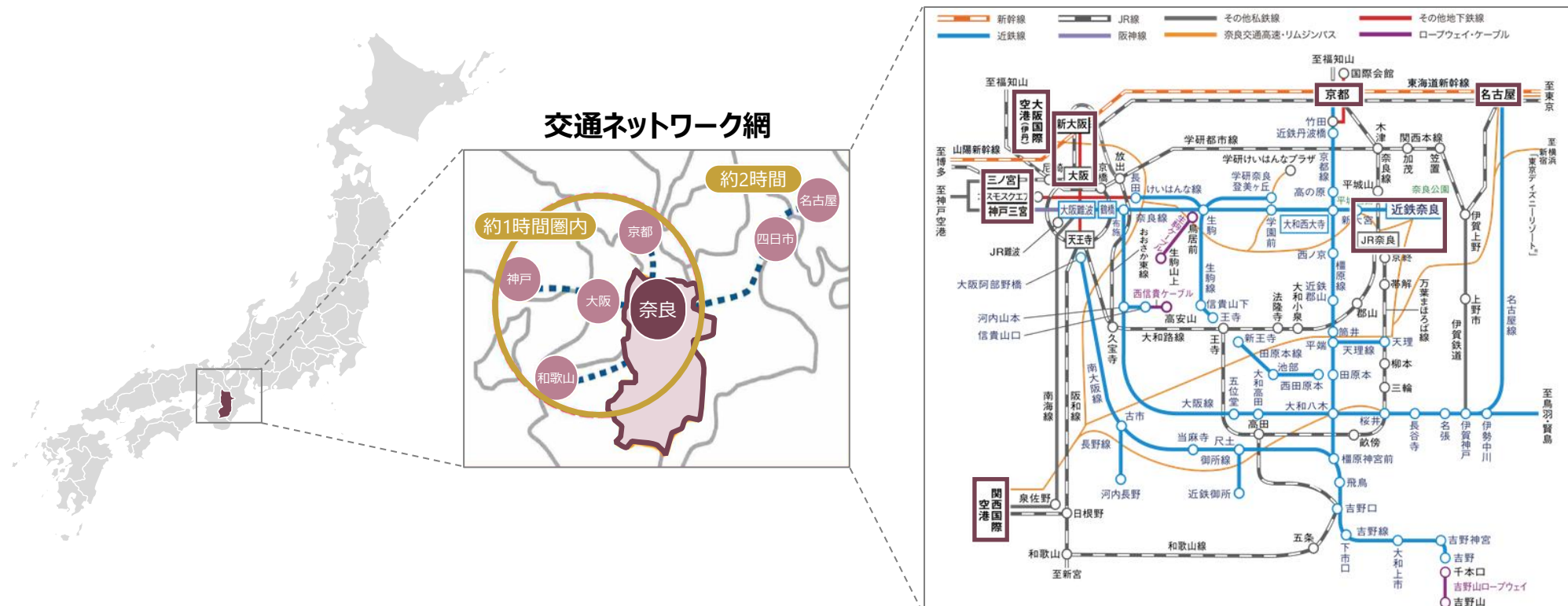


2004年7月登録

1-③ 奈良県への交通アクセス

交通アクセスが充実

- 鉄道網が充実しており、新幹線等を利用して主要都市から短時間でアクセスが可能（東京から約3時間程度、名古屋から約2時間程度）
- **関西国際空港、伊丹空港**からの良好なアクセス（関西国際空港から奈良市中心部まで自動車利用で約100分、鉄道利用で約90分程度）



1-③ 奈良県への交通アクセス

最速2037年（12年後）リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置

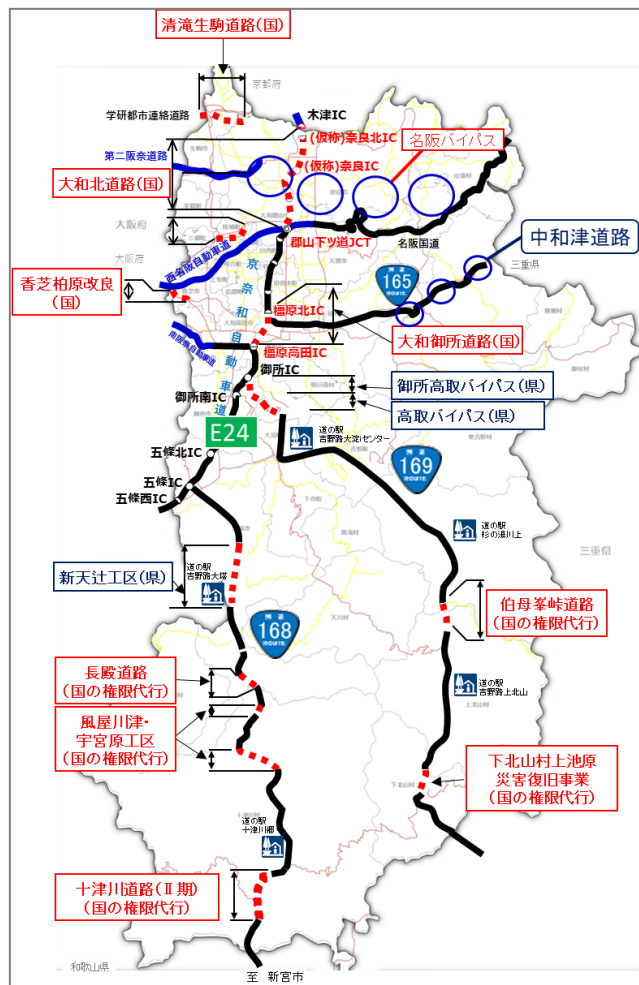


出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレットを基に作成

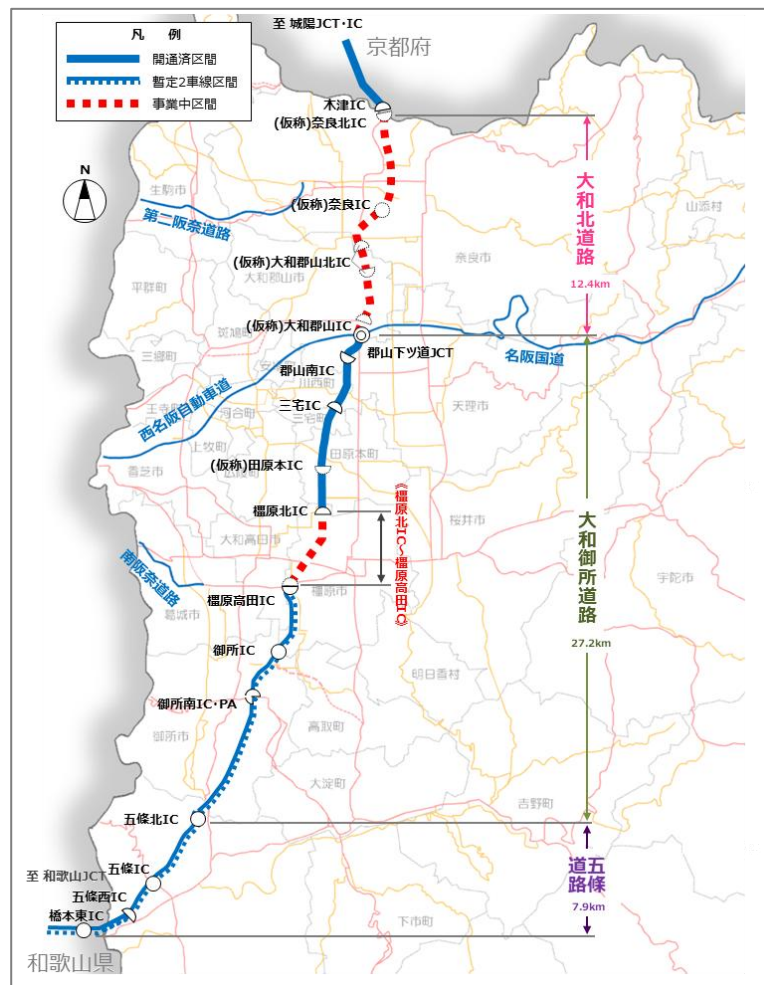
1-③ 奈良県への交通アクセス

高速道路のミッシングリンク・ボトルネックの解消に向けた動き

広域道路ネットワークの整備促進



京奈和自動車道の整備促進



1-④ 奈良県の豊富な魅力

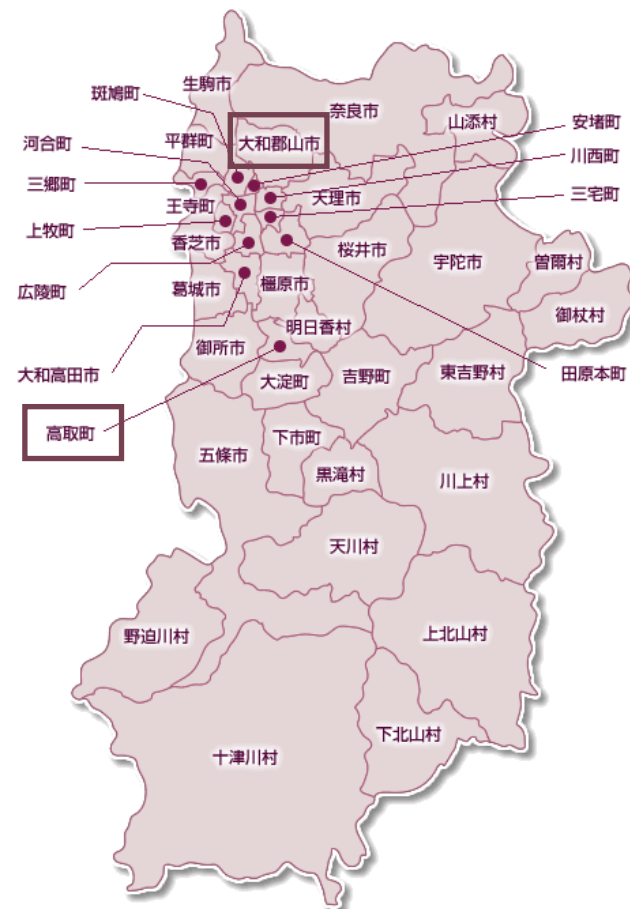
- 1300年の歴史を誇る古都・奈良、日本の国のはじまりを体感できる世界遺産に囲まれ、**国宝・重要文化財の建築・仏像**が数多く残されている地
- 令和7年度からは、2026年NHK大河ドラマ「**豊臣兄弟！**」（R8.1月放送開始）を活用した誘客促進事業を展開



郡山城（大和郡山市）
豊臣秀吉の弟 秀長の居城



高取城跡（高取町）
秀長の家臣 本多利久らが改修
H18「日本100名城」に選出



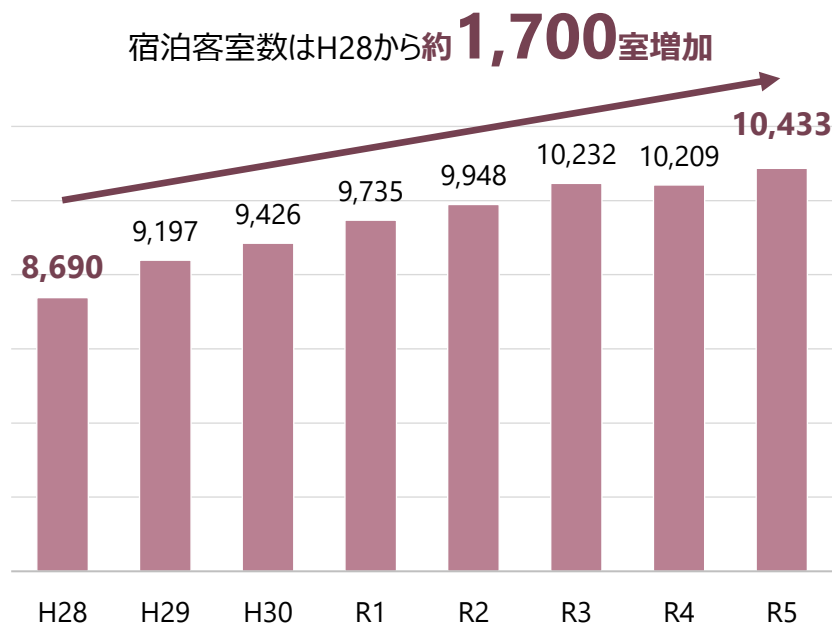
1-⑤ 奈良県の宿泊施設

ホテル誘致、滞在型観光の定着

- 本県は日帰り観光客の比重が高く、**旅館・ホテル客室数がこれまで全国最下位（47位）だったが、令和5年度には43位まで上昇**
- 奈良県内での滞在型観光を推進するため、積極的にホテル誘致に取り組んだ結果、**着実に宿泊客室数が増加**
- **令和12年度までに観光消費額4,200億円**にする目標を掲げ、滞在型観光をより一層促進するため、県内にホテル・旅館を新築される事業者を対象とした
- **「奈良県宿泊施設立地促進事業補助金」を令和3年度に新たに創設。更に、令和6年度からは新築以外も対象とする等、補助対象を拡大**

奈良県内の宿泊客室数

厚生労働省「衛生行政報告例」



<誘致施設の事例>



アコー「ノホテル奈良」

令和6年9月開業

Façade & Exterior design by
Hankyu Construction Management, Inc.



「紫翠 ラグジュアリーコレクションホテル 奈良」

令和5年8月開業

1-⑥ 宿泊者数の推移

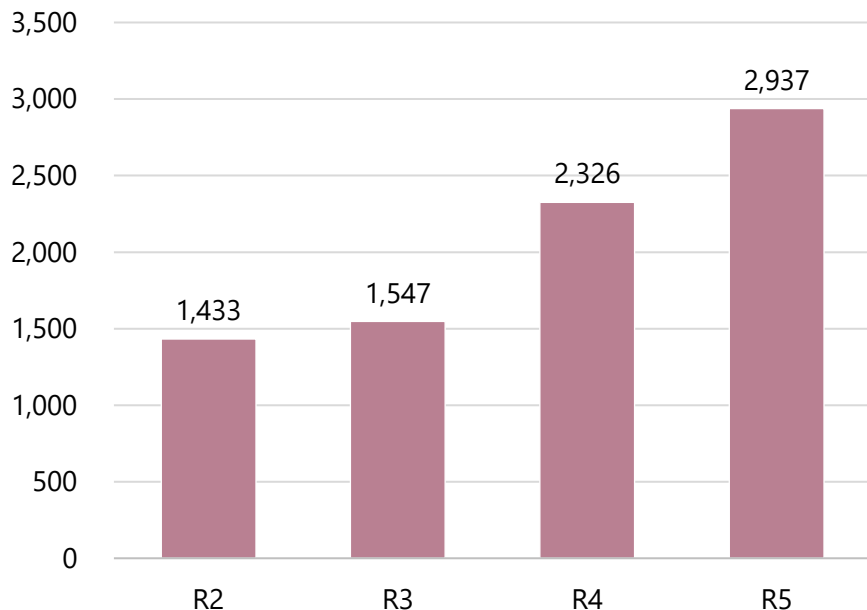
ホテル誘致、滞在型観光の定着

- 令和5年の本県の延べ宿泊者数は293.7万人（前年度比+61.1万人／+26.3%）
- 令和5年の本県の外国人延べ宿泊者数は30.7万人（前年度比+27.6万人／概ね10倍）
- 新型コロナウイルスの水際対策が令和4年10月から大幅に緩和されたため、外国人延べ宿泊者数も劇的に増加
- コロナ禍以前の令和元年と比較すると、延べ宿泊者数は+4.0%、外国人延べ宿泊者数は▲42.1%の状況

延べ宿泊者数

令和5年1月～12月 奈良県宿泊統計調査

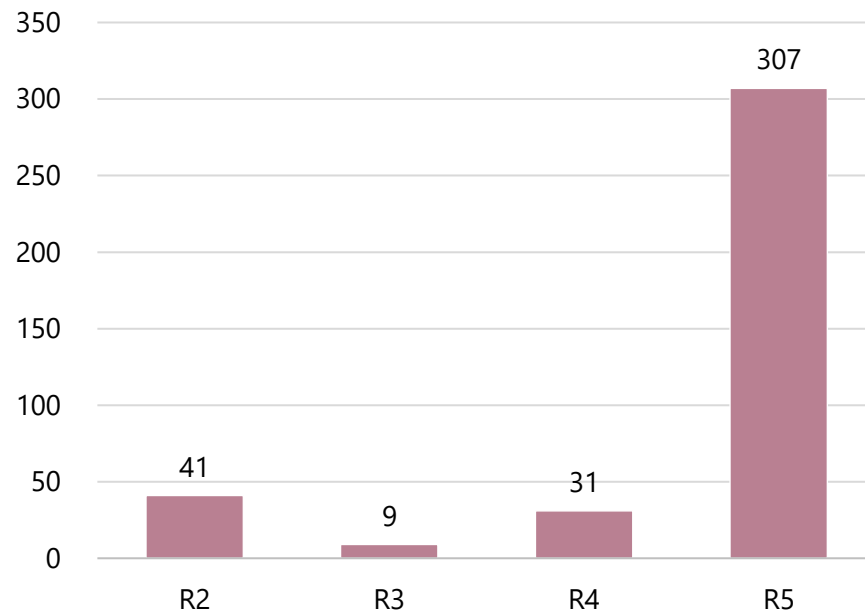
(千人)



外国人延べ宿泊者数

令和5年1月～12月 奈良県宿泊統計調査

(千人)



1-⑦ 奈良県の経済・産業振興

- 魅力的な立地環境のもと、製造業や運輸業など、幅広い企業から新たな拠点として選ばれている
- 人的資源や優遇制度など、企業立地の強みが潜在

＜誘致施設の事例＞



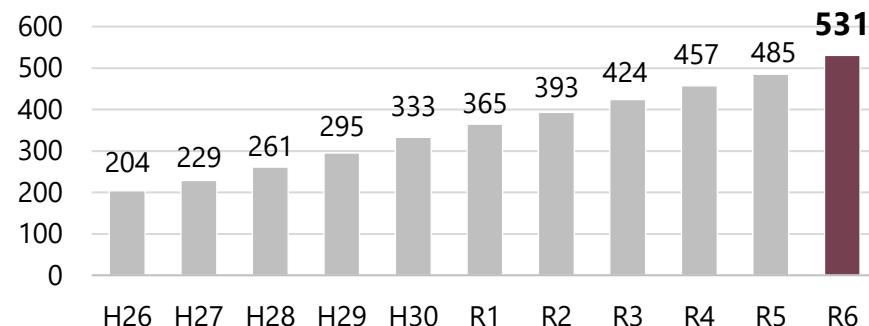
(株) エクセディ天理工場
(駆動系部品製造等 R2～)



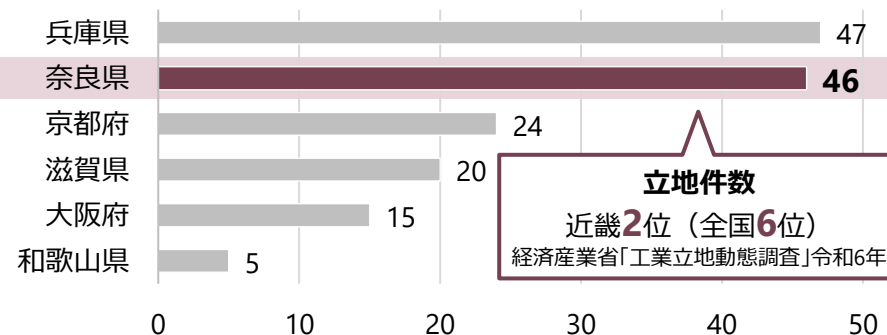
(株) アテックス奈良事業所
(プラスチック部品製造等 R2～)

奈良県の工場立地件数

奈良県独自調査（平成19年度からの累積値）



近畿府県の工場立地件数



1-⑦ 奈良県の経済・産業振興

京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺 工業ゾーンプロジェクト

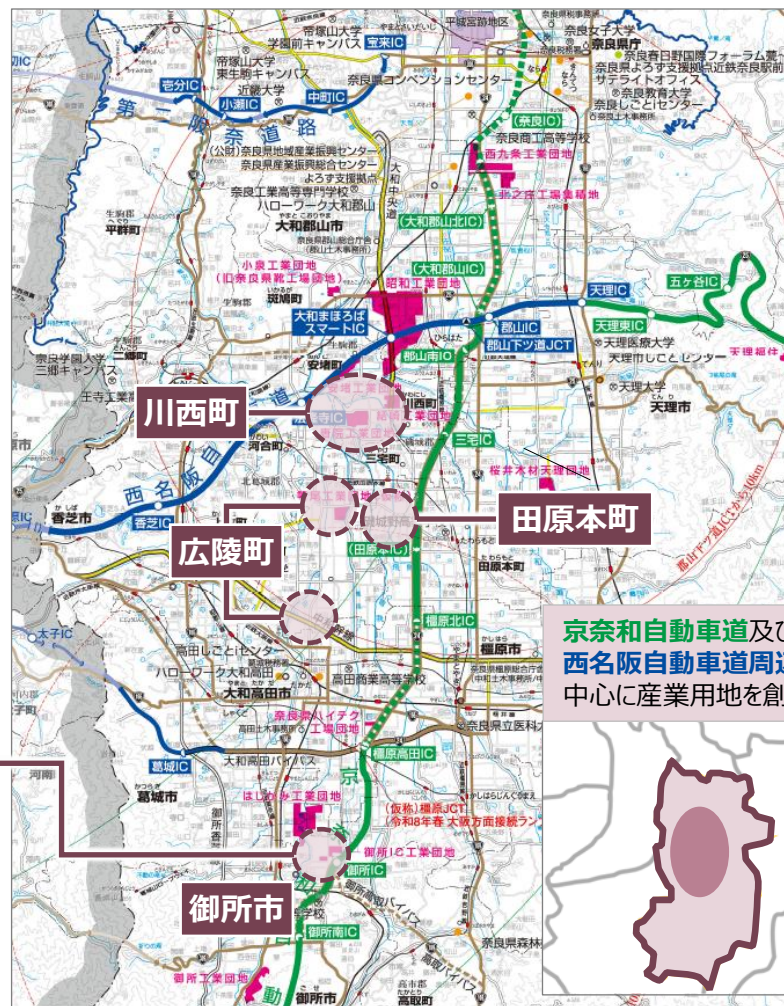
工場進出の勢いが未だ続いている一方で、
県内の産業用地が不足



市町村と連携・共同して工業ゾーン創出プロジェクトに
取り組み、新たな工業ゾーン創出を実施していきます。



新たな工業ゾーン創出に向けて





奈良県の財政状況



2-① 決算額の概況

- 行政改革推進債を発行することなく、財政健全化に向けた取組を強力に推進

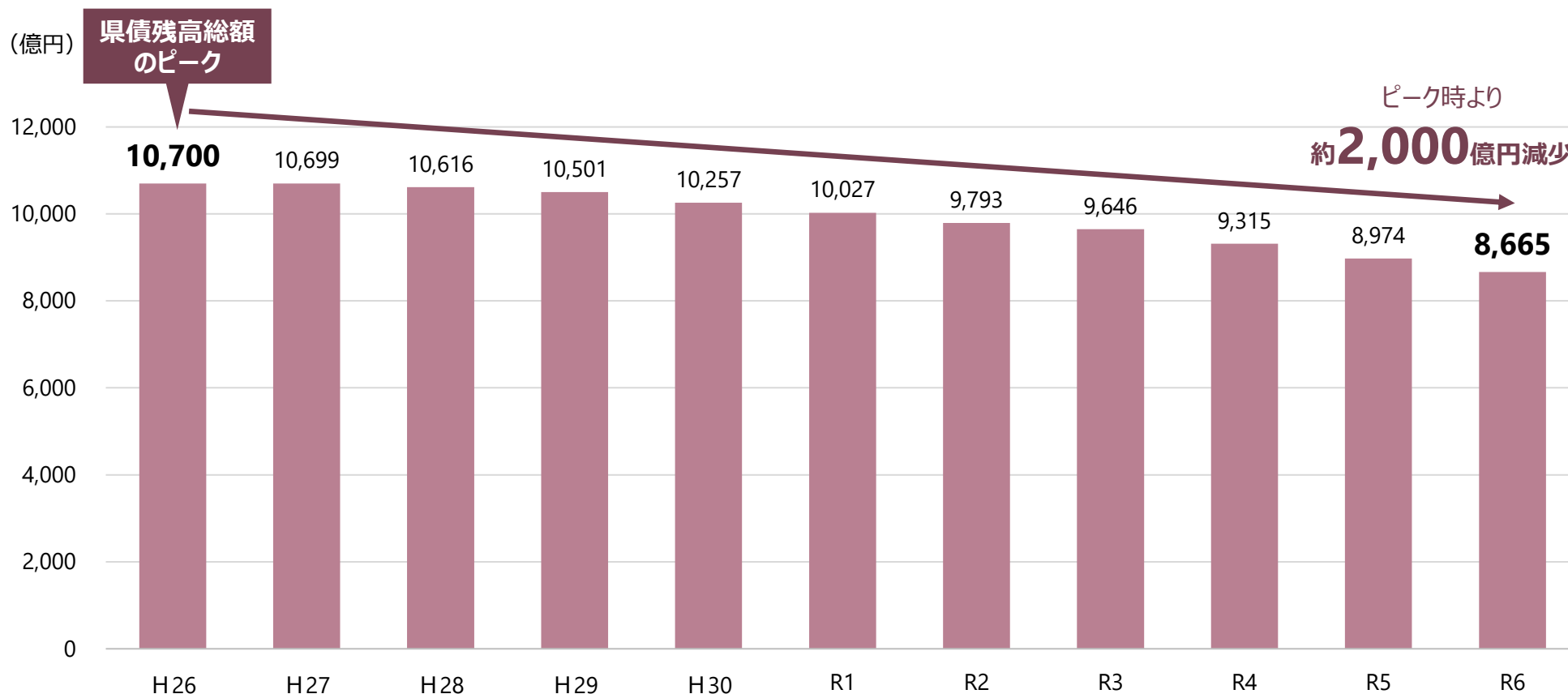
普通会計決算額

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R6-R5
歳入決算額（億円）	4,991	5,143	6,219	6,281	6,036	5,467	5,753	286
県税	1,508	1,491	1,554	1,650	1,662	1,682	1,813	131
地方交付税	1,540	1,568	1,596	1,825	1,801	1,825	1,861	36
臨時財政対策債	258	207	188	236	56	22	10	▲12
行政改革推進債	0	0	0	0	0	0	0	0
県債（臨財債、行革債除く）	332	388	497	417	395	381	368	▲13
歳出決算額（億円）	4,936	5,068	6,138	6,219	5,946	5,363	5,673	310
義務的経費	2,511	2,532	2,620	2,466	2,460	2,365	2,393	28
投資的経費	761	883	931	942	831	857	870	13
実質収支（億円）	13	15	13	14	28	49	30	▲19
経常収支比（％）	92.8	93.7	92.6	84.8	89.5	88.6	89.1	0.5

2-② 県債残高の推移

- 県の借金である県債残高が、決算ベースで10年連続減少し、**ピーク時（H26）から約2,000億円減少**

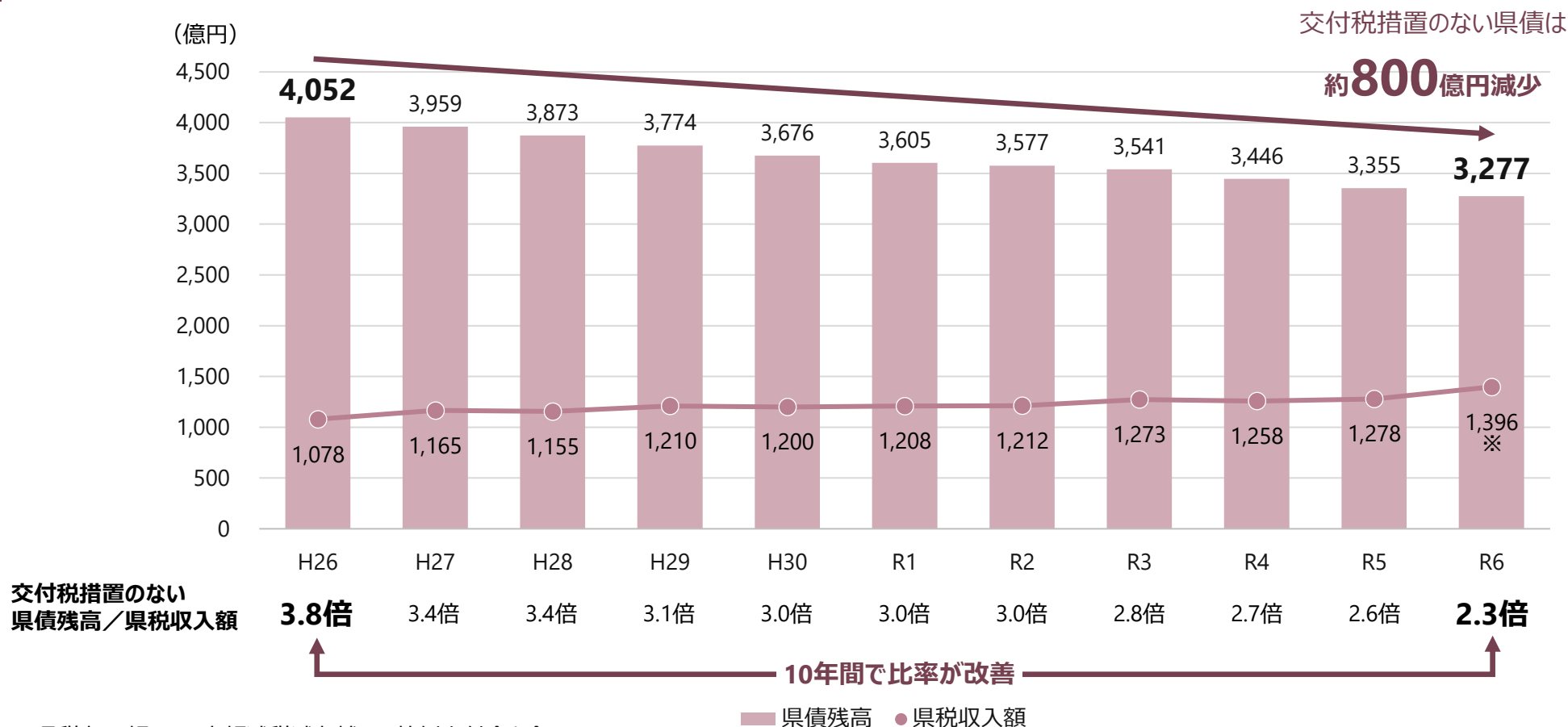
県債残高総額の推移



2-② 県債残高の推移

- 県債管理3原則の実行により、交付税措置のない県債残高も約800億円減少
- 交付税措置のない県債残高と県税収入額との比率は3.8倍から2.3倍へと改善

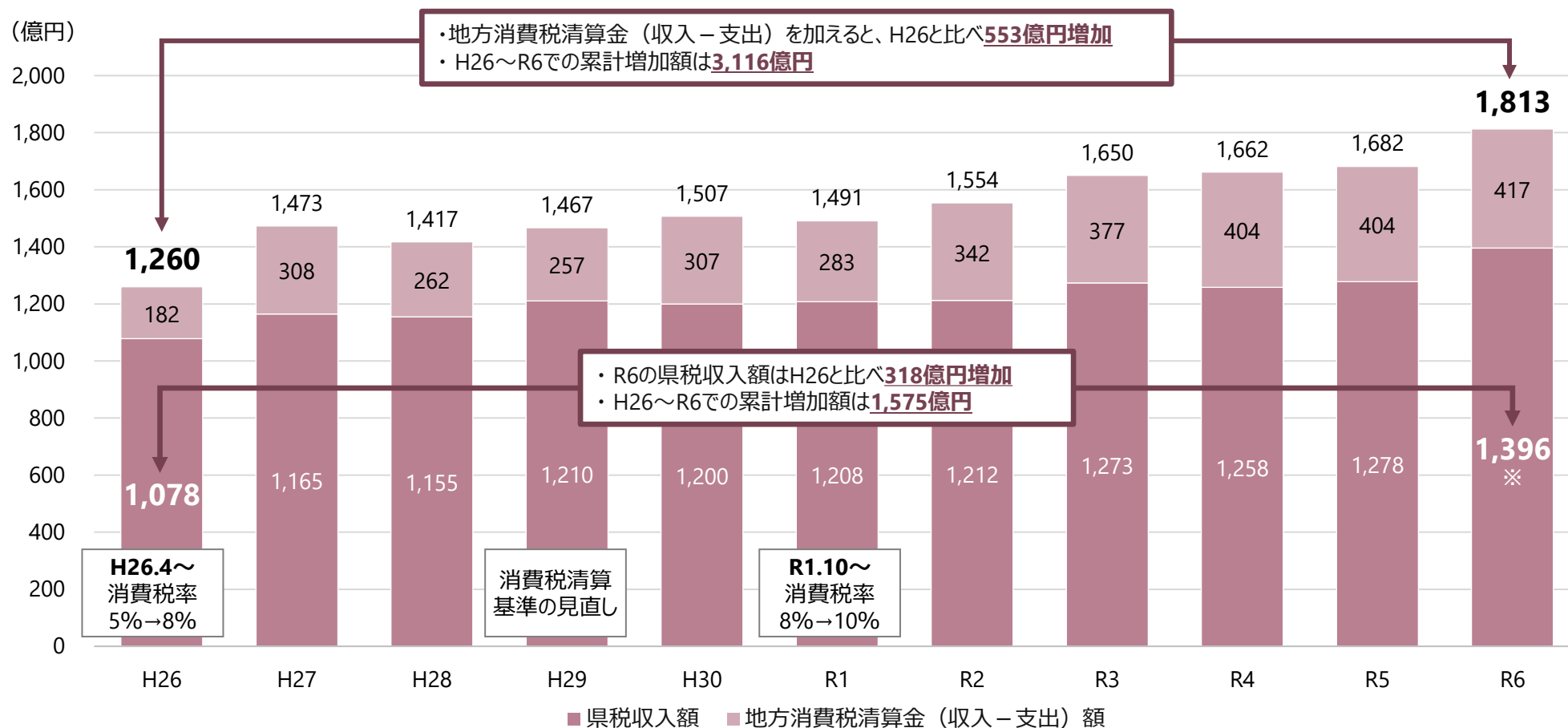
交付税措置のない県債残高と県税収入額の推移



※R6県税収入額には、定額減税減収補てん特例交付金を含む

2-③ 県税の推移

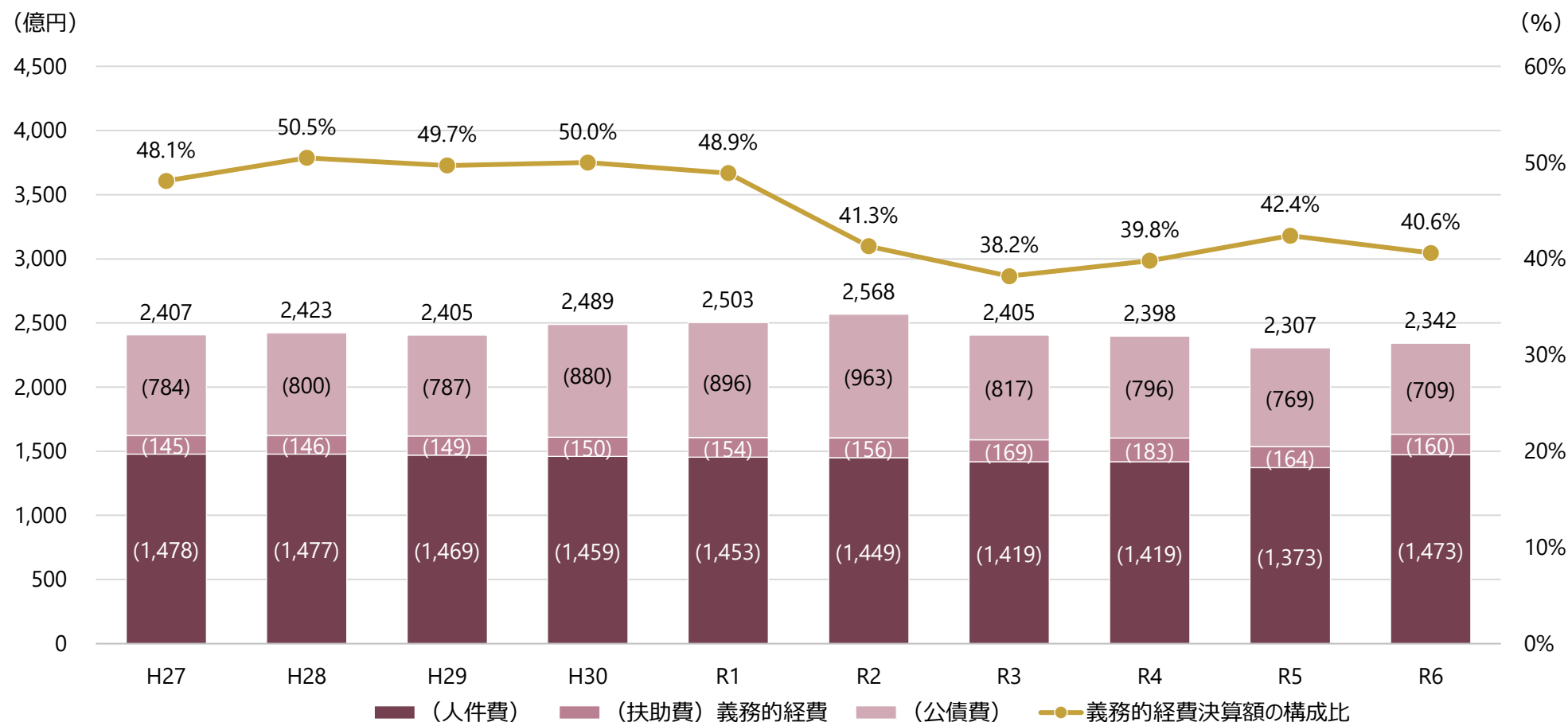
- 令和6年度の県税は、法人の堅調な業績を反映した法人2税が増加したことなどから、前年度比**118億円の増加**
- 定額減税に伴う減収への国費による対応として、定額減税減収補てん特例交付金（38億円）が措置



※R6県税収入額には、定額減税減収補てん特例交付金を含む

2-④ 義務的経費の推移

- 令和6年度の義務的経費は、公債費などが減少した一方、人件費が増加したことにより、**35億円の増加**
- 引き続き、特別職の自主的な給与抑制措置や交付税措置のない県債の発行抑制により、義務的経費の抑制に取り組む



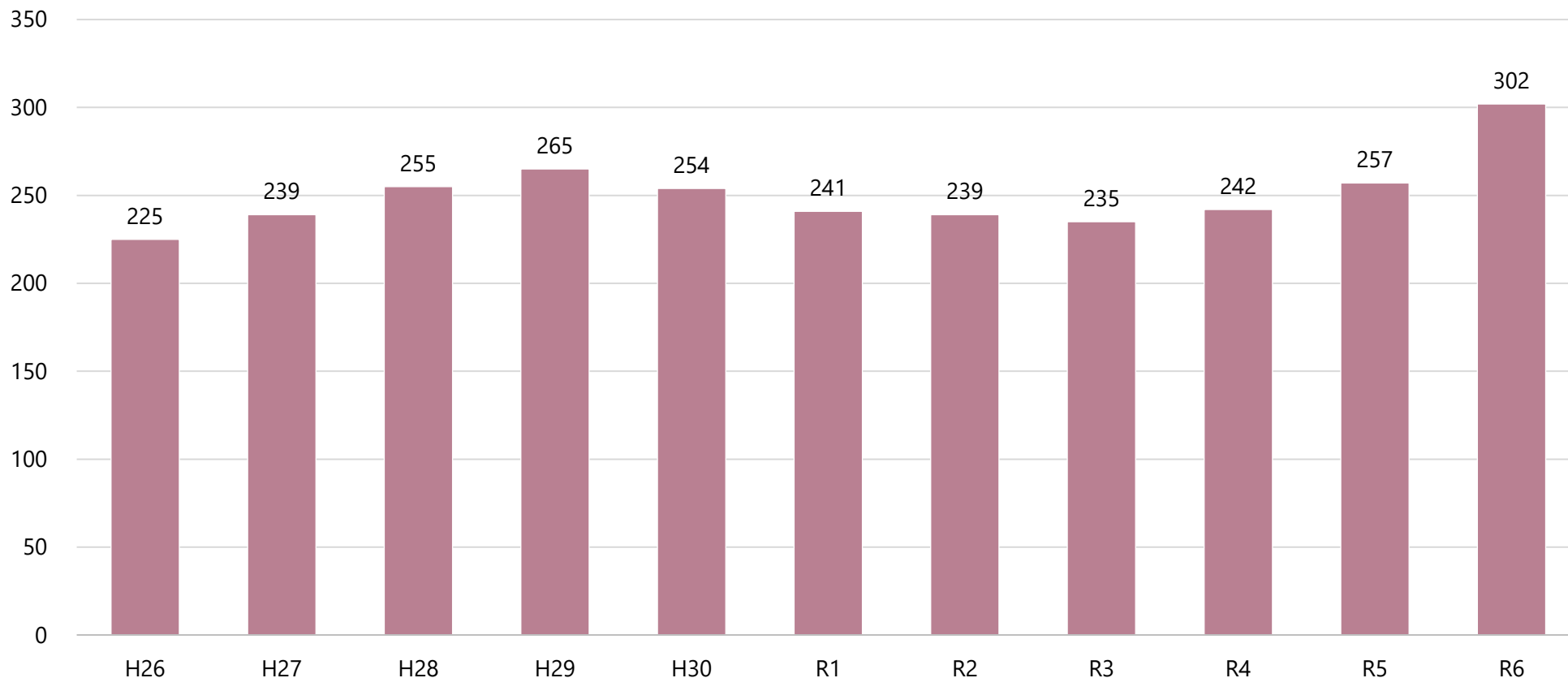
※ 表示単位未満で四捨五入しているため、数値の計と合計が一致しない場合がある

2-⑤ 基金残高の推移

- 極力、基金に依存しない財政運営を実施することで、財政調整基金については一定の水準を維持
- その他、市場公募債の償還に備えた積立については、確実に実施
- 地方債、財投機関債の購入などによる効率的な運用を実施し、利子収入の確保に努める

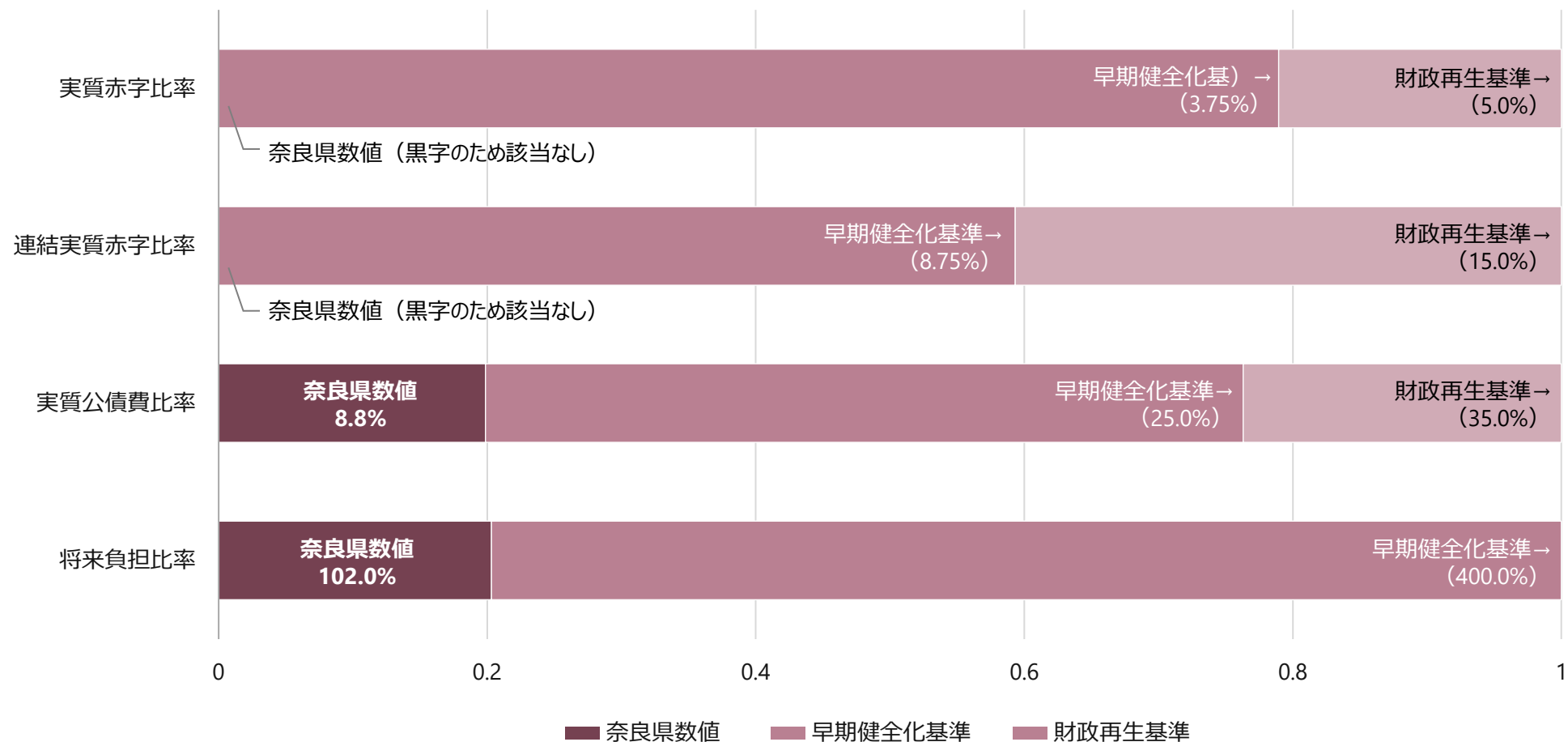
基金残高の推移（財政調整基金）

（億円）



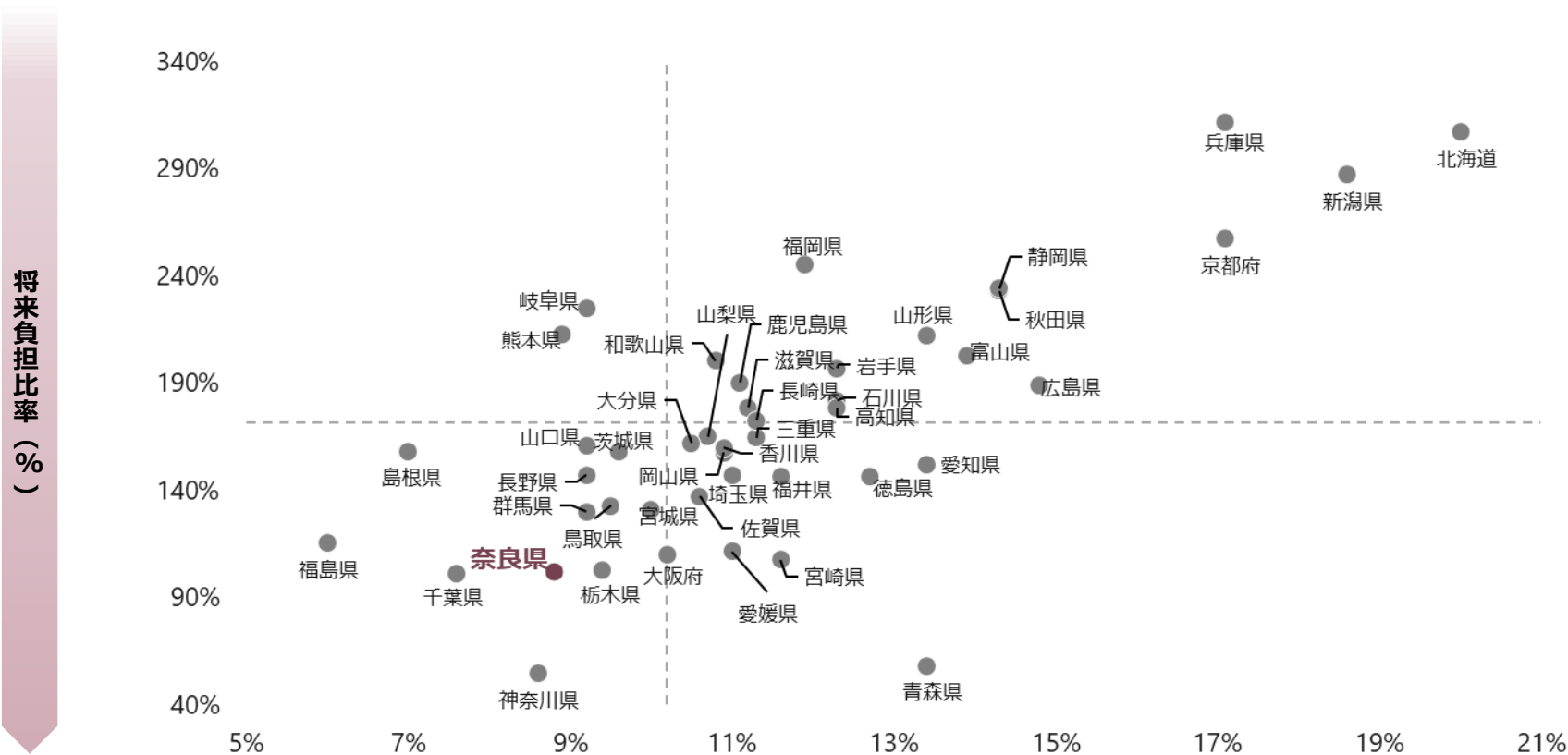
2-⑥ 財政健全化判断比率の状況（R6年度末）

- 財政状況を示す健全化判断比率は、いずれも健全な数値
- 引き続き、徹底した行財政改革により、健全な財政を維持



2-⑦ 財政健全化判断比率の全国的なポジション（R6年度末）

- 本県は、東京都を除く46道府県の中でも、比較的上位に位置



低いほど
健全

実質公債費比率 (%)

2-⑧ 公営企業の決算状況

- 水道事業については、前年度に引き続き、良好な経営状況（R7.4.1からは奈良県広域水道企業団へ組織改編）
- 流域下水道事業については、前年度に引き続き、良好な経営状況

（単位：百万円）

事業名	BS			PL			R6年度末 借入金残高	資金不足比率 (%)
		R5年度	R6年度		R5年度	R6年度		
水道用水供給事業 (法適用事業)	資産合計	146,827	147,072	総収益	10,915	10,935	14,603	-
	負債合計	53,922	52,286	総費用	8,965	9,082		
	資本合計	92,905	94,786	純利益・損失	1,950	1,853		
流域下水道事業 (法適用事業)	資産合計	149,080	144,018	総収益	12,908	12,942	17,255	-
	負債合計	120,545	114,977	総費用	12,298	12,435		
	資本合計	28,535	29,041	純利益・損失	610	507		

2-⑨ 公社・独立行政法人の決算状況

- 土地開発公社については、国及び県からの受託事業減収による経常損失に加え、県へ保有有価証券を寄付したことにより特別損失を計上
- 県立医科大学については、入院患者数や入院単価、外来単価の増等により附属病院収益が増加する一方、コロナ病床確保支援補助金の廃止や医薬品費・診療材料費の増等により、経常損益及び当期損益が赤字化
- 県立病院機構については、入院患者数の増加や病床稼働率の上昇により医業収益が増加する一方、収益増に伴う材料費の増加や人件費・物価高騰に伴う経費の増により、経常損益及び当期損益が赤字化

(単位：億円)

		公社 (R6決算)	独立行政法人 (R6決算)	
		土地開発公社	県立医科大学	県立病院機構
BS	資産の部	125	593	387
	負債の部	110	384	563
	資本の部	15	209	▲177
PL	経常損益	▲1	▲21	▲35
	当期損益	▲18	▲23	▲56

※ H26年度より、独立行政法人県立病院機構を設立（県立2病院が移行）
 住宅供給公社は、H26年3月末に解散
 道路公社は、H31年3月末に解散



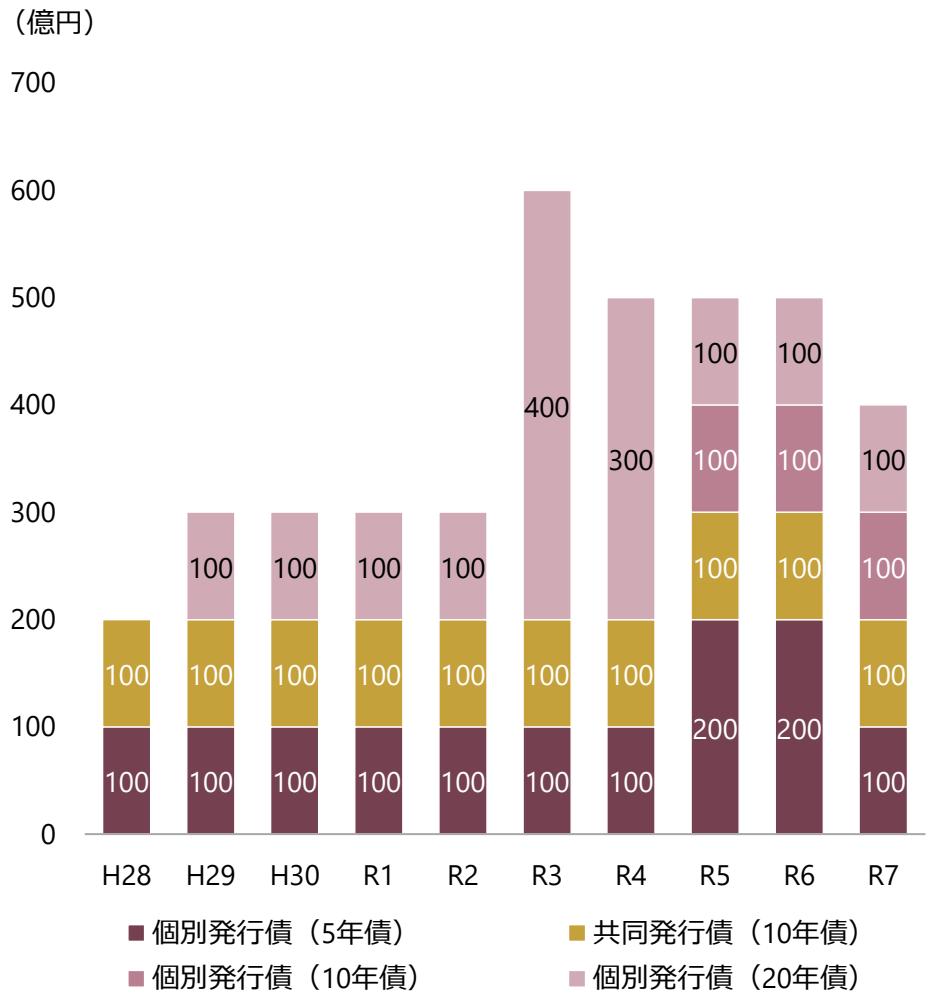
3

奈良県の起債運営



3-① 市場公募債の発行概要

市場公募債発行額の推移



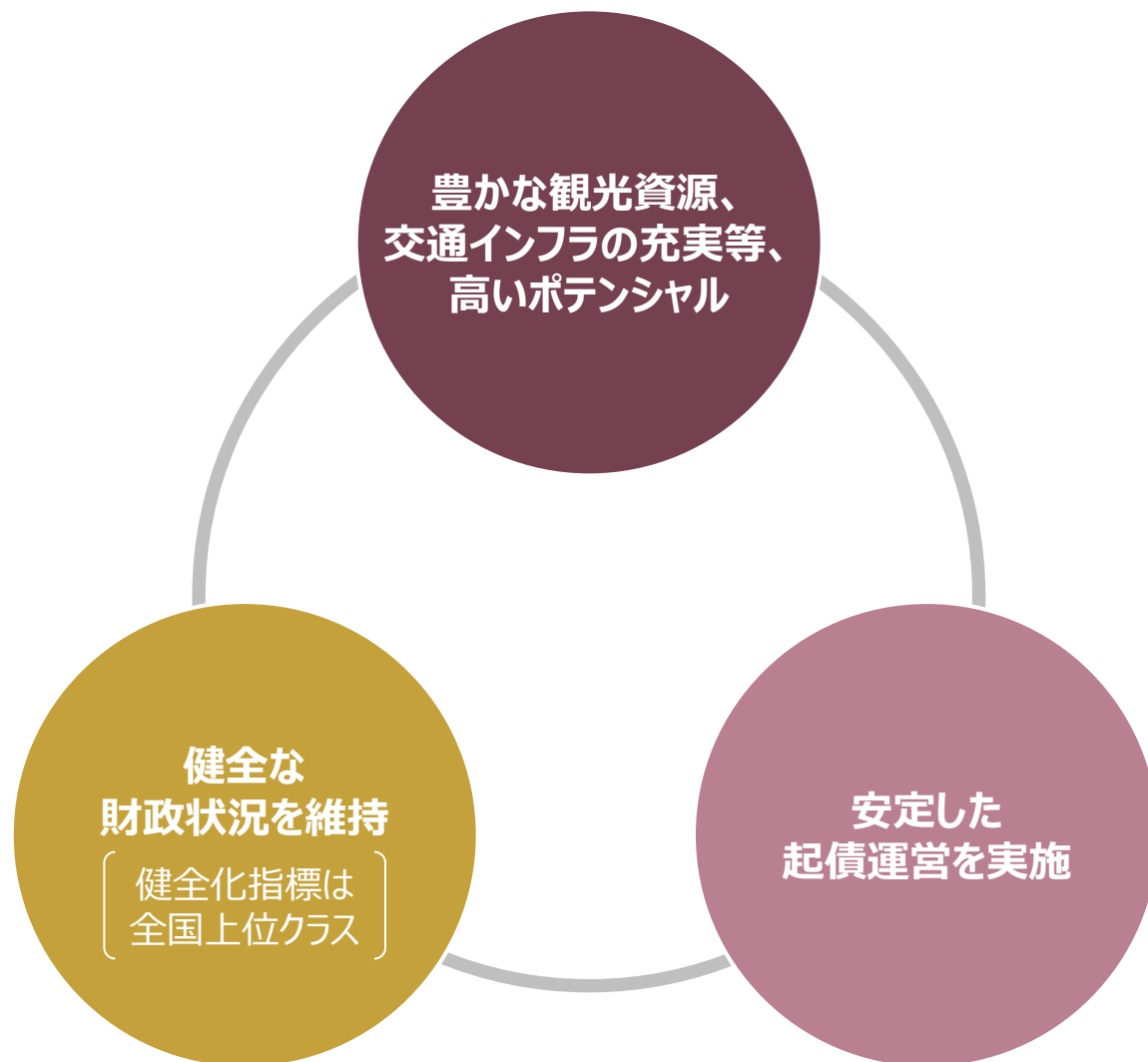
令和 7 年度の発行概要

	個別発行			共同発行
年限	5年 満期一括	10年 満期一括	20年 満期一括	10年 満期一括
起債方式	シ団	主幹事	主幹事	シ団
発行日	11月28日 (予定)	5月30日	5月30日	10月24日
条件 決定日	11月12日 (予定)	5月9日	5月14日	10月7日
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円

※ 別途、共同発行の枠組みによりグリーン共同債10億円を発行予定

さいごに

■ 本日の説明のポイント



奈良県総務部財政課

TEL 0742-27-8362

FAX 0742-23-6895

所在地 〒630-8501
奈良市登大路町30番地

WEB <http://www.pref.nara.jp/>



奈良県広報担当VTuber

奈々鹿
nanaka
ナナカ